

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VOI. 5 —

— ごあいさつ —

院長 北村 道彦



平穏な年である事を切に祈って新年を迎えました。

懸案であった434床のフル稼働は、お陰さまで、軌道に乗りました。紹介率は70%を超え、紹介患者さん中心の医療が定着しつつあります。一方で逆紹介率も50%を超えるようになり、急性期医療の終了後は、回復期の病院や地域のかかりつけの先生に積極的に紹介しております。かかりつけ医、ふたりの主治医、かかりつけ薬局、かかりつけ歯科医の定着を更に推進したいと考えています。

さて、去る11月10日には第1回地域医療研究会が開催されました。一般演題は5題で、(1)当院の山田哲也医師からの救急総合診療科の平成22年度のまとめと今後の課題についての報告(医師不足の当県では、総合医の育成は必須)、(2)老健施設等の看取り率75%であったとする敬和会の終末期医療の報告(高率!)、(3)長年のこむら返りが深腓骨神経ブロックで劇的に改善したとの和賀診療所松谷院長の報告(大先輩の発表で脱帽)、(4)北良(株)笠井社長による震災時の在宅酸素療法患者への支援の報告(まさにプロフェッショナリズム)、(5)田村太志クリニックの田村院長によるバッテリーや発電機等を用いた電子カルテ機能の保持の報告(あの停電の中、電カルを落とさず診療)と、いずれも有益な内容でした。特別講演は藤沢病院院長の佐藤元美先生から、ナイトスクール、健康増進外来(傾聴を中心とした新しい外来看護)、研修医教育、医療介護連携、医科歯科連携など、多岐にわたり、楽しく勉強になるお話をお聴きしました。2月の研究会にも、是非沢山の参加をお願いいたします。

厳しい季節が続きます。ご健康をお祈りいたします。

一陽来復 冬来たりなば春遠からじ
改めて、今年も宜しく願います。



『そ〜ら通信』は「太陽」・「エコ」・「青空」、そして「元気のいい掛け声」と、たくさんの意味がこめられた院長通信の名前です。

北村院長は山歩きが大好き。このコーナーでは、北村院長が山で出逢った花々を紹介します。



リシリリンドウ

「ブルーの宝石のように最高に
気に入りました」 3年半前に訪
れた利尻山の登山の時に会いま
した。ミヤマリンドウに似ていま

すが、中の花びら(副片)が
開かないので区別がつきま
す。利尻山は、北海道のおみ
やげの代表であるお菓子の包
装紙のデザインに使用されて
おります。その姿の通り急峻
な登りがあり、さらに麓から
登るので標高1,700m台と
思えない程厳しい山でした
が、その分登頂の喜びは格別。
往復10時間かかりました。

第1回地域医療研究会を開催しました

地域医療福祉連携室 連携コーディネーター うちやま 内山 きよえ

平成23年11月10日岩手県立中部病院地域医療研究会を開催いたしました。地域医療研究会は、県立北上病院では毎年定期的で開催していましたが、北上病院と花巻厚生病院が統合し、平成21年4月1日に中部病院として開院してから初めての開催となりました。

当日は左記5題の発表演題と講演があり、どの演題も興味深く意義のある内容でした。

特別講演は『住民と対話する医療』をテーマに一関市国民健康保険藤沢病院院長の佐藤元美先生から、地域に根ざした医療の展開について沢山の写真を入れたスライドを基に、楽しくお話して頂きました。

当日は、お忙しい中、院内外からたくさんの方々に参加して頂き、初めての地域医療研究会を盛会に開催することができました。講演をして頂いた佐藤先生はじめ、発表者の方々、参加して頂いた皆様に心から感謝申し上げます。

これからも定期的な開催を予定していますので、沢山の演題応募と多くの方の参加をお願いいたします。



↑佐藤先生
“証拠写真”撮影中
「ブログに載せます」



【地域医療研究会発表演題】

- ①「岩手県立中部病院救急総合診療科の活動報告と今後の展望」
中部病院救急総合診療科 内科医長 山田 哲也
- ②「老人施設における看取りの現状」
医療法人社団敬和会総合センター管理者 菊池 富士子 氏
- ③「こむら返りについての有効な治療法」
和賀診療所 院長 松谷 浩幸 氏
- ④「東日本大震災における在宅酸素療法患者への対応」
北良株式会社 代表取締役社長 笠井 健 氏
- ⑤「開業医における電子カルテ時代の停電対応」
一災害時に基幹病院へ負担を集中させないために一
坂の上野田村太志クリニック 院長 田村 太志 氏

第2回地域医療研究会 開催決定

盛況で幕を閉じた第1回研究会を受け、さっそく第2回の開催を決定しました。

皆様の参加を心よりお待ち申し上げます。



【開催日時】

平成24年2月15日（水）

18～19時 一般演題発表（5題予定）

（※一般演題の募集は20日で締め切らせていただきました。）

19～20時 講演

- ①「禁煙外来（仮）」

坂の上野田村太志クリニック 院長 田村 太志 氏

- ②「おいしく食べるために歯科ができること

—北上歯科医師会の取り組み—

あや歯科医院 院長 高橋 綾 氏

【場所】

岩手県立中部病院 講堂（2階）





＝放射線治療・核医学分野での取り組み＝

《6回シリーズ第2回》

高精度放射線治療

放射線治療科長 小原 東也 おばら とうや

中部病院では、放射線治療に用いる医療用直線加速装置（リニアック）も最新の世代のものを導入することになりましたが、この装置を用いて、昨今のマスコミによる話題の中で通称「ピンポイント照射」として取り上げられる高精度放射線治療のひとつ「強度変調放射線治療（IMRT）」の実現が可能となりました。

実は、こうした治療が可能な機構を持つ世代のリニアックは、県内の他の施設でも既に導入されているところがあります。しかし、こうした高度な治療は、「装置が対応している」というだけでは実現できない部分があります。それは、これまでの一般的な精度の治療とは桁違いに高度で多岐にわたる管理が要求されるため、これを実施するには、こうした管理に関する専門知識を修得した技術者が専断的に業務に携わるという環境が確保されることが必須といってよい条件になります。当院では、こうした専門家として「医学物理士」・「放射線治療品質管理士」の資格を持った希少な人材がいち早く確保され、このおかげで、県内で最初にこの「IMRT」の実施にこぎつけることができました。

適応疾患は、現在のところ「前立腺癌」「頭頸部癌」および「中枢神経系」となっており、ここまで主に前立腺癌を対象とした治療を行っております（頭頸部癌については、一部試験的に実施していますが、系統立てて安定して実施するにはまだいくぶんかの課題があります）。治療成績の向上と副作用発現の軽減に効果が期待されます。

（次号は「PET/CT」の紹介です）



あなたの手洗い

・・・効果は？



本格的な冬到来に向け、インフルエンザやノロウィルスなど、冬に流行する感染症の対策として、「手洗いの重要性」と「咳エチケット」について理解していただこうと、外来の患者さんや家族を対象に健康講座を開催しました。当日は外来総合受付前の待合室を利用し、『冬の感染症を予防しようー正しい手洗いと咳エチケットについてー』というテーマで当院感染管理認定看護師の講義後、正しいマスクの装着と手洗いを実践しました。待合室の患者さんや家族が熱心に講義に聞き入る姿が見受けられ、手洗いの実践にも積極的に参加し、検証ではグリッターバッグを真剣にのぞき込んでいました。

当院では今後も、患者さん家族を対象にしたミニ健康講座を企画開催していきたいと思っています。

新任医師紹介

平成23年11月1日に着任した医師です。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名	山下 あさひ（やました あさひ）		
診療科・役名	眼科・眼科医長	出身大学（卒年）	東北大学（平成9年卒）
所属学会	日本眼科学会（専門医）		



今年の目玉は医科歯科連携！

中部病院開院時から始まった歯科医師会の先生方との連携を、今年は入院患者さんだけでなく、これから治療が始まるかたや外来に通院するかたにまで広げて、皆で体も歯も元気に！が目標です。

私ごとですが、昨年、貴重な体験をしました。夜中に突然の歯痛が始まり、痛み止めは全く効かず、ぐらつく奥歯をペンチで抜こうかと本気で考えながら一晩中ベッドの上を駆けまわりました。翌日、某歯科クリニックの美しい先生に、マスクの向こうから「先生、だいぶ歯茎が弱ってますねえ」と言われて、情けな〜く口を開けたまま、「ああそうか、目の次は歯に来たのか・・・」と動物としての自分の寿命をしみじみ感じたのでした。

というわけで、お口の健康の重要性を我が身を持って思い知った私としては、やっぱり今年は医科歯科連携。病気になったら歯もチェック、どうぞよろしくをお願いします。

連携おやじのつぶやき



なんでも係、星野彰が、最近の話題をお届けします。

地域医療福祉連携室長のコーナー

研修会のお知らせ

当院では、様々な研修会を企画しており、随時みなさまにご案内いたします。申込は不要です。多数の参加をお待ちしております。

日 月	開催時間	研修会名等	◇会場はいずれも 中部病院 2階講堂
2月9日 (木)	19~20 時	『副作用対応を含めた放射線療法・化学療法の推進に関する研修会』 ＝開催内容＝ ①「放射線治療について」 放射線治療科長 小原東也 ②「化学療法について」 呼吸器外科長 那須元一 ③「化学療法、放射線療法中の口腔トラブルとケア」 北上歯科医師会 和賀歯科医院 和賀浩幸先生 ＝対象＝ 医療従事者	
2月15日 (水)	18~20 時	『地域医療研究会』 本紙2ページ目をご覧ください	

地域連携室及び 各診療科からのお願い



◇甲状腺疾患について◇

甲状腺疾患の患者さんは、「総合診療科」にて診察しております。紹介の際は「総合診療科」宛にご紹介くださるようお願いいたします。

◇ マスク着用のご指導を◇

咳が長引いている方、感染が疑われる方をご紹介いただく際は、来院時、マスクを着用されるようご指導をお願いします。

岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室
〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17 番 10 号
TEL 0197-71-1511 FAX0197-71-1881 (地域連携室専用)
URL <http://www.chubu-hp.com/>



